

📡 まつしま

議会だより

第167号

令和8年8月1日発行
宮城県松島町議会



「集まれ！ 松島北パークゴルフクラブ」

- ◇ 議案審議 P 3
- ◇ 9人の議員が熱弁(一般質問) P 8
- ◇ 町民インタビュー P20

令和8年
第2回 定例会

[6月2日～6月5日]

**報告第1号 令和7年度松島町一般会計
繰越明許費繰越計算書について**

家計応援商品券配布事業他4件の繰越についての報告

**報告第2号 令和7年度松島町一般会計
事故繰越し繰越計算書について**

（都）根廻・初原線道路整備事業の事故繰越についての報告

議案第29号 専決処分の承認**（松島町町税条例の一部改正について）**

地方税法の改正に伴う軽自動車税環境性能割の廃止等について所要の改正

議案第30号 専決処分の承認**（松島町都市計画税条例の一部改正について）**

地方税法の改正に伴う本条例において引用する条項ずれ等について所要の改正

議案第31号 専決処分の承認**（松島町国民健康保険税条例の一部改正について）**

地方税法施行令等の改正に伴う新課税項目に係る税率等について所要の改正

議案第32号 和解及び損害賠償額の確定について

町は、強風により飛ばされた屋外掲示物が駐車中の車両のフロントガラスに当たり、損傷したものとして、相手方に対し損害賠償（車両修理費等）として46,200円を支払うもの

議案第33号 和解及び損害賠償額の確定について

町は、地域清掃活動による草刈り作業中に生じた飛び石が車両のフロントガラスに当たり、損傷したものとして、相手方に対し損害賠償（車両修理費等）として240,361円を支払うもの

議案第34号 令和8年度松島町一般会計補正予算（第1号）

松島第一小学校トイレ洋式化改修事業等について補正

議案第35号 令和8年度松島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

職員の人事異動に伴う人件費等について補正

議案第36号 令和8年度松島町介護保険特別会計補正予算（第1号）

職員の人事異動に伴う人件費について補正

議案第37号 令和8年度水道事業会計補正予算（第1号）

職員の人事異動に伴う人件費について補正

議案第38号 令和8年度下水道事業会計補正予算（第1号）

職員の人事異動に伴う人件費等について補正

議案第39号～46号 松島町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて

赤間善弘氏、菊地正美氏、千坂とみ江氏、阿部良春氏、内海博之氏、鈴木正太郎氏、只木幸子氏、丹野隆子氏の松島町農業委員会委員の任命につき同意を求めるもの

諮問第2号～6号 松島町入札監視委員会委員の選任につき意見を求めることについて

赤石雅英氏、武田三弘氏、松浦健太郎氏、熊谷哲氏、魚橋慶子氏の松島町入札監視委員会委員の選任につき意見を求めるもの

議案審議

年度内完了が見込めず 繰り越した事業を検証 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業ほか

令和7年度松島町一般会計繰越明許費繰越計算書(報告)

質疑

色川晴夫議員 家計応援商品券について、地域及び住民の間には配布時期にかなりばらつきがあった。配布を委託している利府松島商工会に対し、今後同様の事業を行う際は迅速に配布されるよう望むがどうか。

町長 利府松島商工会に経緯を確認したところ、不在の場合は再配達を2回試み、3回目で郵便局への来局を求める方式だったため、配達が滞っていた面があった。町が指摘した後は対応が改善され苦情は減った。「郵便局に渡せば終わり」ということではなく、今後は末端の配布状況まで注視する。

菅野隆二議員 松五小の階段昇降機について、設置が4月末になったことにより、これが必要とする児童にとって不具合は発生していないか。

教育長 入学に間に合うよう準備を進めており、新年度のスタート時点は問題なかった。現時点では児童の体重が軽いため、車椅子ごと持ち上げて対応することも可能と聞いている。

和解及び損害賠償の額の決定について(議案32号)

質疑

櫻井靖議員 屋外掲示物の安全総点検が必要と思うが、その取り組み状況は。

町長 早速、風で飛ばされるようなものについてしっかりと点検を行っていく。

色川晴夫議員 46,200円の修理費で対応できたのか。

教育課長 補修材料の修理で対応が可能だった。全員賛成・可決

和解及び損害賠償の額の決定について(議案33号)

質疑

赤間幸夫議員 額の決定、保険関係、示談書等の流れは。

総務課長 現場の状況と被害状況の確認を行い、見積額の精査を行う。示談書は議会の承認後に取り交わす。

菅野隆二議員 地域清掃活動での飛び石事故の根本的対策は。

総務課長 活動については注意喚起、呼びかけを十分に行っていく。

中西傳議員 安全衛生教育や作業者講習への参加についての考えはどうか。

総務課長 職員や担当課と相談しながら講習等について様々な面に対応していきたい。

全員賛成・可決



令和8年度へ 繰り越した事業6件

1. 各会計ごとの繰越明許費

一般会計		
事業名	翌年度繰越額	完了した月 () は見込み
家計応援商品券配布事業	1億3,960万円	(令和8年8月)
令和7年度物価高対応子育て応援手当事業 (追加支給分)	93万円	(令和8年6月)
令和7年度物価高対応子育て応援手当事業	93万円	(令和8年6月)
道路附属物点検事業	467万1千円	(令和8年11月)
第五小学校階段昇降車購入事業	363万円	令和8年4月

2. 事故繰越し

一般会計		
事業名	翌年度繰越額	完了(見込)
(都) 根廻・初原線道路整備事業	1億2,626万1,100円	(令和8年11月)

用語解説

繰越とは……会計年度内で終わらなかった歳出予算の経費を不用とせず、翌年度に歳出を移動（繰り越し）をして翌年度の歳出予算として使用することができるようにすること。

繰越明許費……事業の性質上または予算成立後の事由により支出を完了することができない見込みのあるものについて、あらかじめ議会の議決を経て翌年度に繰り越して支出することができる経費。

事故繰越し……避け難い事故のため、その年度内において支出が終わらなかった場合で、やむを得ず繰り越した経費。

和式から洋式へ改修

第一小学校トイレ洋式化改修事業

補正予算

令和8年度松島町
一般会計補正予算
(第1号)

質疑

桜井ていこ議員 第一小学校トイレ洋式化改修の工期は、夏休み期間で終わるのか。また、女子トイレの待ち時間などの問題はないか。

教育次長 工期は令和9年3月末まで。工事は長期休暇中に予定している。女子トイレの待ち時間については小学校では特に問題は聞いていないが中学校では混雑があると認識している。

中西傳議員 第一小学校トイレ洋式化改修工事で各トイレに1個だけ和式を残す必要があるのか。全部を洋式化したほうが良いのではないか。

教育次長 生徒の中には衛生面から和式を選ぶ生徒もおり、文科省方針に沿い一部和式を残す。

徒もおり、文科省方針に沿い一部和式を残す。

色川晴夫議員 各小中学校のトイレの洋式化率はどうなっているか。

教育次長 第一小学校で今回洋式化を図ると洋式化率が76%。第二小学校は令和6年度に洋式化改修工事を行い76%。第五小学校は約60%。中学校は40%弱で低いので、今後改修に向けて予算獲得に努力していく。



菅野隆二議員 土地の貸付料287万円の内容は。

財務課長 土地の面積は2,835平方メートル。貸付目的は松島高校の校舎改築工事に伴い業者に貸付けるもの。期間は2ヶ月間で令和7年度から令和9年度である。

色川晴夫議員 農林水産費の強い農業づくり総合支援事業補助金として「イチゴ栽培事業」総事業費2億8千万円、補助額1億4千万円を見込んでいた。しかし、資材高騰や中東情勢の影響により事業費が当初の約2倍の5億円へと増加し、事業者が断念した。今後の町の考えは。

町長 根廻地区にイチゴの観光農園ができれば、新たな松島の名物ができるものと期待をしていた。今回の計画は一旦白紙になるが、新たな事業展開ができるよう体制を考えていく。

賛成全員・可決

令和8年度松島町
下水道事業会計補正
予算
(第1号)

質疑

米川修司議員 過年度損益修正損229万9千円について、計上された経緯は。また、納付が遅れ、延滞税の発生はないのか。

水道事業所長 当初予算では決算見込みに基づき消費税額を算出していたが、決算確定後の最終計算で調整額が変動し還付予定から納付へと変更になった。また、消費税は6月に申告し納付する仕組みであり、延滞税の対象にはならない。

赤間幸夫議員 企業会計における人事異動の際、異動前後の職員の給与水準に大きな差が出ないよう町として配慮しているのか。

副町長 事務職の場合は、比較的同じ年齢層の職員が異動することが多く、技術系職員は年齢層の幅が広く異動により給与額に差が生じる。

賛成全員・可決

このほか、令和8年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)、令和8年度松島町介護保険特別会計補正予算(第1号)、令和8年度松島町水道事業会計補正予算(第1号)は質疑、討論はなく、賛成全員で可決された。

請願

消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める請願

国が導入を予定しているOTC類似薬への追加負担について、患者の自己負担増につながることから、追加負担を行わないよう国へ意見書を提出することを求める請願が提出された。

質疑はなく、本請願は教育民生常任委員会へ付託された。

国民健康保険財政への定率国庫負担の増額を求める請願

国民健康保険財政への国庫負担を増額し、安心して医療を受けられる国民健康保険制度の実現に向け、国へ意見書を提出することを求める請願が提出された。

質疑はなく、本請願は

教育民生常任委員会に付託された。

子ども・子育て支援金制度の創設に伴う支援納付金に係る保険料負担が実質負担増とならないように国に財政支援措置等を求める請願

国民健康保険制度の被保険者は、雇用労働者とは異なり賃上げ効果をそのまま享受することが困難であり、子ども・子育て支援納付金に係る保険料が実質的に新たな負担増となっている。子ども・子育て支援納付金に係る保険料について、財政支援措置等の具体策を検討されるよう国へ意見書を提出することを求める請願が提出された。

質疑はなく、本請願は教育民生常任委員会に付託された。

松島町議会議員定数削減に関する請願

少子高齢化や人口減少等、松島町を取り巻く財政環境は厳しい状況にある。行政サービスの維持や持続可能な地域社会をつくるためには、行財政の改革は不可欠であり、松島町議会も身を切る改革を行うことが必要だ。議員定数を14名から10名にすることを求める請願が提出された。

質疑

色川晴夫議員 松島町は、面積が2市3町で一番広い。14名から一気に4名減らすとなると地域の声をいかに聞いていくかが難しくなると思うがどうか。

安部孝議員 面積の問題もあるかと思うが、憲法問題で1票の格差というのは人口割の計算で行

われているのが実態である。

櫻井靖議員 全国を見れば、我が町以上の人口が少ないところでも議員が14名以上の町が存在している。今回の削減は、人口減少以外の要因として何か考えられることがあるのか。

安部孝議員 人口と定数の関係は大事な基本のベースだ。

本請願は議会運営委員会に付託された。

人事案件

松島町農業委員会委員

………同意

〈再任〉

赤間 善弘氏
(松島町幡谷)

菊地 正美氏
(松島町竹谷)

阿部 良春氏
(松島町根廻)

内海 博之氏
(松島町桜渡戸)

只木 幸子氏
(松島町幡谷)

千坂 とみ江氏
(松島町磯崎)

丹野 隆子氏
(松島町手樽)

鈴木 正太郎氏
(松島町竹谷)

松島町入札監視委員会委員

………適任と答申

〈再任〉

赤石 雅英氏
(塩竈市小松崎)

武田 三弘氏
(利府町加瀬)

熊谷 哲氏
(松島町磯崎)

魚橋 慶子氏
(多賀城市城南)

松浦 健太郎氏
(石巻市泉町)

議案採決結果表

表の見方

- ①採決結果：賛成全員（可決または採択） → 全
賛成多数（可決または採択） → 多
賛成少数（否決または不採択） → 否
- ②各議員の表決：賛成 → ○ 反対 → ×
③その他：欠席 → 欠
退席（除斥を含む） → 退
議長 → 議

令和8年第2回定例会

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	熊谷拓郎	本田翔也	桜井ていこ	中西傳	菅野隆二	米川修司	井上浩	櫻井靖	安部孝	赤間幸夫	色川晴夫	片山正弘	高橋幸彦	高橋利典	賛成	反対
議案第29号	専決処分の承認を求めることについて (松島町町税条例の一部を改正する条例)	6月2日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第30号	専決処分の承認を求めることについて (松島町都市計画税条例の一部を改正する条例)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第31号	専決処分の承認を求めることについて (松島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第39号	松島町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意														議		
議案第40号	松島町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意														議		
議案第41号	松島町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意														議		
議案第42号	松島町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意														議		
議案第43号	松島町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意														議		
議案第44号	松島町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意														議		
議案第45号	松島町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意														議		
議案第46号	松島町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意														議		
諮問第2号	松島町入札監視委員会委員の選任につき意見を求めることについて		適任と答申														議		
諮問第3号	松島町入札監視委員会委員の選任につき意見を求めることについて		適任と答申														議		
諮問第4号	松島町入札監視委員会委員の選任につき意見を求めることについて		適任と答申														議		
諮問第5号	松島町入札監視委員会委員の選任につき意見を求めることについて		適任と答申														議		
諮問第6号	松島町入札監視委員会委員の選任につき意見を求めることについて		適任と答申														議		
議案第32号	和解及び損害賠償の額の決定について	6月5日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第33号	和解及び損害賠償の額の決定について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第34号	令和8年度松島町一般会計補正予算(第1号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第35号	令和8年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第36号	令和8年度松島町介護保険特別会計補正予算(第1号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第37号	令和8年度松島町水道事業会計補正予算(第1号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第38号	令和8年度松島町下水道事業会計補正予算(第1号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0

町政Q & A

一般質問 ここが聞きたい！ 9人の議員が 20件について質問

菅野 隆二 議員	(9ページ)	◆ 公共施設利用申請手続きのオンライン化について ◆ 町民への情報発信の充実について
米川 修司 議員	(10ページ)	◆ 長期総合計画における新たな重点戦略「産業」について
井上 浩 議員	(11ページ)	◆ 通学バスと町民バスの利用状況と今後の地域公共交通について ◆ 総務省が推進する「ふるさと住民登録制度」について
中西 傳 議員	(12ページ)	◆ 石田沢防災センターの利活用について ◆ 磯崎白萩地区の擁壁について
櫻井 靖 議員	(13ページ)	◆ 台湾視察を踏まえた小規模校の可能性について ◆ 自転車利用環境の変化を踏まえた交通安全対策について
安部 孝 議員	(14ページ)	◆ 松島湾ダーランド構想実現に向けての取り組みについて ◆ みちのく潮風トレイルと宮城オルレ事業の参入について ◆ 蓮池の美観保持と観光ルート創出について ◆ 福浦橋の整備と福浦島の魅力向上の取り組みについて ◆ ゼロカーボンシティ宣言に伴う環境政策について ◆ 小中学校の再編統合と幼保一元化の取り組みについて
色川 晴夫 議員	(15ページ)	◆ 町制施行100周年事業及び「宮城のかき祭り」の開催について
熊谷 拓郎 議員	(16ページ)	◆ 松島中学校におけるトイレ環境改善について ◆ 未満児保育料無償化の可能性について
本田 翔也 議員	(17ページ)	◆ 令和10年1月1日 松島町町制施行100周年記念イベントについて ◆ 給食費、保育料の滞納者への対応について

※一般質問とは

議員が町長などの執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求めること



かのりゅうじ
菅野隆二 議員

問

町民の意見を聞く機会が少ないと感じる
町民の声が十分に町政へ反映されているのか

答

数の多さだけで判断することはできないが、
できるだけ多くの意見を町政に反映していく



問 昨年の町議選の投票率は20代27%、60代62%と大きな差がある。若い世代に町政情報が十分届いていないのではないかと。

町長 広報誌やSNS等、複数の手段で発信しているが、若年層への浸透状況は今後分析が必要であり、発信方法を研究していく。

問 パブリックコメントの実施状況と意見数、またタウンミーティングの開催実績はどうか。

町長 パブリックコメントの意見数は、令和5年度が2計画で4件、令和6年度が3計画で4件、令和7年度が6計画で9件である。タウンミーティングは、令和5年度が1回開催で参加者6名、令和6年度が2回開催で参加者は6名と9名、令和7年度は1回開催で参加者8名である。

問 この件数を見ると、町民の意見が十分に町政へ反映されているとは言えないのではないかと。

町長 件数の多さだけで判断することはできないが、テーマによっては今後意見が増える可能性もある。できるだけ多くの意見を町政に反映していきたい。

問 県内市町村の約9割の議会が動画配信に取り組んでいる。議会の動画配信は、町民の知る権利や政治参加、主権者教育にどのような意義があると考えるか。

町長 議論の可視化や住民の知る権利の保障、町政への関心向上につながるものと認識している。

問 議会の動画配信に向けて、技術面や財政面で町として協力・支援する考えはあるか。

副町長 議会側での検討内容を踏まえながら、緊密に情報交換を行い、連携して取り組んでいく。

問

公共施設の予約システムを導入し、利便性向上を図るべきでは

答

直接的な要望は受けておらず、住民に大きな不便は生じていない

問 公共施設の利用予約は窓口申請が原則となっているが、オンライン予約システムを導入し、利便性向上を図るべきではないか。

問 働く世代や子育て世代、町外利用者にとって負担となっている。導入を検討すべきではないか。

教育長 これまで公共施設予約のオンライン化について直接的な要望は受けておらず、住民に大きな不便は生じていないと考えていることから、現時点では検討していない。

町長 近隣自治体の導入状況や運用実績、システム機能などについて情報収集を行い、令和9年度予算に計上するかどうかは別として、前向きに検討したい。



問

一次産業と観光を結びつけた 体験型・滞在型事業の取り組みは

答

コロナ前のように町の食材と観光を 結びつける場を設けるよう進める



よね かわ しゅう じ
米 川 修 司 議員



秋田県にかほ市の広報誌 2026年2月号より

問 松島イノベーション
ヒルズに立地する企業の
従業者は、近隣での住居
を求めることが想定され
る。町内の戸建て・アパ
ート・マンションについ
て、即入居可能な空き物
件の戸数を把握している
か。

町長 住宅の戸数や空き
物件数は概ね把握してい
るが、即入居可能な空き
物件は把握していない。
今後は関係機関の知恵を
借りながら、把握に向け
て取り組んでいきたい。

問 町内の新たな雇用創
出は、特に若者の定住を
促進する絶好の機会であ
る。町は住宅事情の現状
をどう認識し、庁内でど
のように議論・検討し、
具体的対策を講じていく
考えか。

町長 中東情勢の影響で
建設コストが高騰し、住
宅供給が厳しい状況にあ
る。

町は不動産会社と提携
するだけでなく、区画の
大きな土地の活用を検討
している。

定住促進補助金は年度
当初に予算に達するほど
需要が高く、安価な土地
や交通の利便性を生かし
た定住策を総合的に推進
していく。

問 長期総合計画に掲げ
る基幹産業の価値向上に
向け、地域経済の持続的
発展のために既存産業の
振興をどのように進めて
いくのか。



台湾南投県埔里の観光スポット「豊年農場」

問 台湾の農場視察で、
教育・観光・レジャーを
組み合わせた農業体験の
取り組みを学んだ。本町
でもイチゴやタケノコ等
一次産業の魅力を観光資
源として活用し、交流・
賑わいを創出できる事業
者を募り、中長期的に伴
走支援する考えは。

町長 町が一次産業と観
光業者の橋渡しをする取
り組みはコロナ禍に中断
していたので、本定例会
が終了した後に復活させ
たい。

また、新規就農者への
伴走支援は今後も継続し
ていく。

町長 農業は生産組織化
により一定の維持が図ら
れているが、漁業は震災
当時の3分の1まで従事
者が減少し深刻な状況に
ある。観光業は宿泊者数
50万人を目標に広域連携
を強化する。

また、町内建設業者等
で構成する災害防止協議
会の会員が減少してお
り、これにも対応しなが
ら地元産業の底上げを
図っていく。



いのう え 井上 ひろし 浩 議員

問 今後の地域公共交通について

答 より良い運行形態について継続して検討していく

問 町営バスや通学バスの安全運行に向けた委託事業者への管理・確認体制は。

総務課長 町営バスの運行管理については、運転日報により車両点検や運行状況を確認している。委託事業者が運転手の健康診断や安全研修を実施し、町は毎月提出される業務完了報告書を確認し安全に努めている。

教育長 通学バスについても、町営バス同様の対応をしており、児童生徒の安全に努めている。

問 町営バスや通学バスで重大事故が発生した場合の利用者対応、関係機関との連携など、町の危機管理体制は。

総務課長 事故発生時は、運転手から事業者へ状況報告を行い、事業者から町へ速やかに連絡する体制としている。非常時連絡体制表に基づき対応するとともに必要に応じて代替車両を手配し、運行継続に努めている。

教育長 通学バスについても、町営バスと同様の対応をしている。

問 子育て支援や教育費負担軽減の観点から、小中学生の町営バス運賃無償化について検討する考えは。

総務課長 小学生の通学利用は既に減免対象となっており、中学生についてはJＲ利用者もいることから、現時点で対象範囲を拡大する考えはない。

総務課長 これまで路線や便数などの課題について検討を重ねてきた。平成30年度・令和元年度にはデマンド型交通の実証実験も実施している。今後も利用者アンケートや地域公共交通会議の意見を踏まえ、国の制度活用も視野に入れながら、より良い運行形態について継続して検討していく。



品井沼駅前の停留所

問 総務省が推進するふるさと住民登録制度について

答

活用の方向性が定まった段階で制度導入に向け取り組んでいく

問 総務省が進める「ふるさと住民登録制度」について、町としての認識は。

要な取り組みと認識している。現在、町内協賛施設で特典を受けられる取り組みを実施しており、今後も松島の魅力を生かした関係づくりを進めていく。

町長 人口減少や少子高齢化への対応として、関係人口の創出・拡大につながる重要な施策の一つと認識しており、本町の特性を生かした活用の可能性があると考えている。

問 ふるさと住民登録制度について、今後の調査研究や導入に向けた町の考えは。

町長 他自治体の取り組み状況を調査しながら、令和8年度の取り組みを令和9年度以降につなげられるよう検討を進める。町として活用の方向性が定まった段階で、制度導入に向けて取り組んでいく考えである。

問 観光リピーターや町出身者、二地域居住者など、町外の「松島ファン」と継続的な関係を築く取り組みについて、町の考えと現在の取り組みは。

町長 観光客との一時的な関係から継続的な関係へ発展させることは、地域活性化につながる重

問

石田沢防災センターを「道の駅」や「コンビニ誘致」を検討してはどうか

答

今後も研究・検討を続け可能性を探りたい



なかにし ひろし
中 西 傳 議員

危機管理監 光熱水費や管理委託料などを含め、年間約1,100万円の維持管理費がかかっている。

問 年間の維持管理費はいくらかかるか。

危機管理監 消防署・消防団の訓練、防災研修、会議室の貸出しなど、一定の利用がある。令和7年度の利用実績は、年間約300日の開館に対し使用件数は87件である。

問 石田沢防災センターが観光動線上に位置し広い敷地と駐車場を備えているにもかかわらず、平時の利用が少なく「もったいない」という声が多い。特に繁忙期でも駐車場がほとんど利用されていない。現在の利用状況は。

問 立地条件を生かし、道の駅化により観光案内、地域産品販売、防災拠点としての機能強化など多くのメリットが期待でき、国の補助金活用も可能であるが、町としての考えは。

町長 過去に道の駅化を検討したが、交通量が少なく採算が取れないとの事業者の判断で断念した経緯があった。道路整備が進んでいる現状を踏まえ、今後も研究・検討を続けていく。

問 石田沢防災センターの駐車場の一角にコンビニを誘致してはどうか。特に「災害支援ローソン」モデルは平時の利便性向上と災害時の防災機能強化の両立が期待できるのでは。

町長 過去に複数のコンビニ事業者と協議した経験があり、採算性の課題で実現しなかった。しかし、無人店舗など新しい形態も含め、今後も可能性を探りたい。



石田沢防災センター

問

磯崎白萩地区の擁壁の劣化が進んでいるが大丈夫か

答

不安があれば、相談に来て欲しい

問 磯崎白萩地区の東側に位置する高さ3〜6メートル、延長約180メートルの大規模な擁壁について、複数の劣化が目視で確認できる。鉄筋腐食によるコンクリート剥離、膨らみ、隙間からの樹木の成長など、構造的に危険性が疑われる。町としてこの擁壁の現状をどのように把握し、危険性をどう認識しているのか。

副町長 擁壁が危険であると行政が断定できる段階ではないため、住民を集めて説明会を行うことは難しい。調査費用は状況により大きく異なり個人負担となるため、個別相談の中で対応したい。なお窓口は建設課である。

副町長 この擁壁は区画整理事業により造成されたもので、構造計算を行ったうえで製造されたプレキャスト製品である。そのうえで、擁壁は私有財産であり、行政としては「道路に隣接する私有擁壁」として認識している。



磯崎白萩地区擁壁



さくら い やすし
櫻 井 靖 議員



台湾双冬国民小学との今後の交流は



両校の児童が相互に成長できるよう充実を図っていく

教育長 提案があったことを学校に伝えて、双冬国民小学に受け入れていただけるならば、教職員や児童に負担のない範囲で少しずつ枠を広げていきたい。そして両校の児童がそれぞれの教育環境で相互に成長できるよう、交流事業のさらなる充実を図っていきたい。

問 松島第五小学校と双冬国民小学とのオンライン交流について、年1回の交流にとどまらず、より日常的な交流の可能性について検討してはどうか。そうなれば語学力の向上や国際理解につなげていくのではないか。

教育長 オンライン交流が始まって4、5年になるが、今回初めて「双冬絵巻」の存在を知った。教育資源として活用するには準備が必要で、相当時間がかかると思うが、まずは、その絵巻の背景を子どもたちに伝えることから取り組んでいきたい。

問 松島町と台湾双冬地区を結ぶ「双冬絵巻」を使い、両地区の歴史的・文化的つながりを町民へ周知し、教育資源として活用を考えてはどうか。



台湾双冬国民小学の子ども達と

問 台湾との学校交流を学校間交流にとどまらず地域間交流や国際理解教育へと発展させていく考えはないか。

町長 埔里へは2回行き、昨年は、埔里から来られた方々と会食もしている。地域間交流や国際理解の重要性は認識しているものの、埔里と松島町との交流については、現在、白紙である。今後は、関係機関と調整しながら交流の在り方について考えていきたい。



問 自転車利用環境の変化を踏まえた交通安全対策について

答 継続して交通ルールの遵守を呼びかけていきたい

問 自転車利用に関する交通ルールの厳格化について、町としてどのような認識を持っているか。また、町民に対してどのような周知啓発を行っているのか。

町長 重大な事故の抑制につながることを目的としている制度と認識している。

総務課長 交通違反の内容の周知啓発については、塩釜警察署に相談し、交通安全関係団体と協力しながら、自転車通学の生徒や通勤者に対して、継続して呼びかけていきたい。

どの導入について検討する考えはないか。

総務課長 ヘルメット着用の重要性について町のホームページでも呼びかけている。今後も交通安全啓発活動や交通安全教室を通じてヘルメット着用の重要性を呼びかけていきたい。

また、ヘルメット購入の補助制度については、着用促進の効果を見極めながら制度導入の可能性について考えていきたい。



問 自転車利用者の安全確保のため、ヘルメット着用推進にどのように取り組んでいく考えか。また、購入補助制度な



松島湾ダーランド構想実現への取り組みは



県主導の広域連携の枠組みを尊重し進める



あべ たかし 議員
安部 孝

問 この構想の町の具体的取り組みは何か。

産業観光課長 多言語パンフレット、教育旅行、語り部クルーズ等の取り組みを行っている。

問 宿泊税を有効利用するため、この構想に町は主体的に取り組むべきだろうか。

町長 宿泊税については検討会議を開催し、方向性を決めていく。



みちのく潮風トレイルと宮城オルレ事業の参入を



国道45号双観山付近の安全確保がなされていない



問 二つの「歩く」をテーマにしたこの事業は、地域活性化にも有効である。取り組みを検討すべきだがどうか。

町長 ルートの選定には安全確保、維持管理体制等が必要であり、地域の協力体制も不可欠である。



蓮池の美観保持と観光ルートの創出を



蓮池の継続的管理とルートのPRを行う

問 水主町通りから蓮池、新富山、松島駅までの観光ルートの創出は、トレイルの道になるがどうか。

町長 このルートは、ガイドマップや外国語観光マップにも掲載されている。PRに努めたい。



蓮池の整備と観光ルート



福浦橋整備と福浦島の魅力向上の取り組みを



橋工事の財源確保と県との協調関係が不可欠



問 カフェ・ベイランドと茶屋のあり方・整備が必要である。所見は。

町長 県の担当部に相談している。今後、県と協議し連携していく。



ゼロカーボンシティ宣言に伴う環境政策を問う



太陽光発電の年次計画、LED化推進に努めたい



問 太陽光発電の公共施設への導入計画、公共施設へのLED化の取り組み状況は。

問 温水プールに太陽光発電施設・LED化・地中熱導入の所見は。

総務課長 導入計画は、今後優先順位をつけ年次計画で取り組む。LED化は、公共施設は約4割の実施になっている。

教育長 太陽光発電やLED化への更新、地中熱の導入に係る経費等を含め検討している。



小中学校の統合と幼保一元化の取り組みを



幼保再編は検討業務委託を発注する予定



問 小中学校再編統合と第一幼稚園・第五幼稚園・高城保育所の幼保一元化を含めた取り組みと総合的な議論が必要であるが、所見は。

教育長 今後の児童数を踏まえ「児童数を踏まえ」既



色川 晴夫 議員
いろ かわ はる お



町制施行100周年記念事業及び宮城のかき祭り開催について



観光協会や各方面へ漁協を通して検討していく

町長 小・中・高校生と一般の多くの方々から、合計269点の応募があった。その中から、最優秀賞と優秀賞を選び表彰する。

問 平成10年の町制施行70周年記念事業では、「アート・フル・松島」全国絵画公募展、「外交の窓in松島」「民謡をたずねて」の公開録音、観瀾亭での「月見の宴」など、一年を通じて盛大に開催された。

町制施行100周年記念事業で、ロゴマークの募集が5月31日までであったが、応募数は。

問 各課代表職員による検討委員会及び、各課長を中心による検討本部の中で、どう検討されているのか。

総務課長 検討本部では、町史発行記念とした講演会、観光大使によるイベント、五大堂のプロジェクションマッピング、テレビ番組、子どもの遊び場整備などの意見が出ています。

問 令和9年度は、記念事業の実施期間であり、あまり時間が無いのでは。最終決定の目安は。

総務課長 事業には、予算が伴うものであり、令和9年度の当初予算に計上できるように検討する。

問 記念事業での予算はどの位を想定しているのか。

町長 一つ一つの事業の予算は計算していないが、ふるさと納税も考えていきたい。また、観光大使にも打診しており、さらに、ブルーインパールの飛行についても観光協会と一緒に要望していきたい。



令和8年2月の松島かき祭りのにぎわい



令和8年2月の松島かき祭りの様子

問 令和10年の「松島かき祭り」は50回目の節目を迎える。江戸時代初期、湾内でカキ養殖が始まり、1,900年前半に垂下式養殖が導入された。まさに、宮城県カキ養殖発祥の地とも言える松島で、県内カキ生産地が一堂に会し、「宮城のかき祭り」を開催することとは、松島ならではの記念事業である。宮城県の水産振興と観光振興に繋がると思うがどう考えるか。

町長 かき祭りは、海岸地区の若手の努力があり、第1回の開催から令

和10年に50回目の大きな節目を迎える。この間、生産者の減少とカキ処理場が3ヶ所となったことを危惧している。東日本大震災後、カキ生産が落ち込んだが、日本三景の自治体からの協力でカキ食べ比べセットが大変評判がよかったこともあり、100周年にあたりもう一回できないか頭に入れていきたい。また、宮城のかき祭りに関して、衛生面も考えながら、観光協会や各方面へ漁協を通して、考えていきたい。



くま がい たく ろう
熊 谷 拓 郎 議員

問 未満児保育料無償化の可能性について

答 有効な施策と認識しており、財源や公平性を踏まえて検討する

問 出生数の減少や子育て世帯の転入状況を踏まえ、人口減少対策として子育て世帯の定住促進にどのように取り組む考えか。

町長 交通の利便性や教育環境など、松島町の魅力を生かしながら移住・定住を促進していく。子

問 少子化が進む中、子育て世代に選ばれるまちとなるため、未満児保育料無償化を検討する考えは。

町長 未満児保育料の無償化は、定住促進や少子化対策に資する有効な施策の一つであると認識している。一方、継続的な財源確保や、在宅で子育てをしている家庭との公平性についても検討が必要である。

育て世帯の転入が増えている流れを大切にし、必要な支援を行いながら町の魅力向上に取り組んでいく。

問 町として特色ある子育て施策を進める考えはあるか。

町長 日本三景松島という地域資源に加え、教育環境や子育て支援の充実にも取り組んでいる。近隣自治体に見劣りしない子育て支援を進めるとともに、教育の質の向上にも力を入れ、町の魅力を高めていく。

問 未満児保育料無償化は、将来への投資として検討に値する施策ではないか。

町長 未満児保育料無償化に要する経費は年間約3,168万円と試算している。財政状況を踏まえながら検討を進めるが、町の将来を考えれば子どもへの支援は重要であり、今後の状況を見極めながら判断していく。

一般質問

問 松島中学校のトイレ環境改善について

答 子どもの声を踏まえ、学校と連携しながら改善を検討する

問 松島中学校では和式トイレが22基、洋式トイレが14基となっている。和式トイレに慣れていない子どもがトイレを我慢しているとの声もあるが、教育委員会の認識は。

問 学校再編が検討される中でも、現状に応じたトイレ環境の改善を進める考えはあるか。

教育長 学校再編の検討は重要な課題である一方、トイレ環境の改善も並行して進める必要がある。学校と丁寧に相談しながら改善に取り組んでいく。

教育長 トイレを我慢することは健康面や学習面、心理面に悪影響を及ぼす可能性があることと認識している。学校再編の検討と並行し、学校と相談しながらトイレ環境の改善について検討していく。

問 第一小学校が先行してトイレ改修となった経緯は。

教育次長 第二小学校は令和6年度に洋式化改修を実施済みである。第一小学校と中学校は洋式化率が同程度だったが、第一小学校は便器の劣化が著しかったため、優先して補助申請を行った。

問 子どもたちの声や家庭環境の変化を踏まえ、今後どのようにトイレ環境の改善を進めていく考えか。

町長 家庭での洋式トイレの普及など、子どもたちを取り巻く環境は変化している。学校現場や子どもたちの声、利用実態を踏まえながら、教育委員会と連携し、改善のあり方を検討していく。



子育て世帯が安心して子どもを育てられる環境づくりが求められる





ほんだ しょうや
本田 翔也 議員

問

町制施行100周年記念イベントの計画と進展状況は

答

決まっているものはないが様々な事業を検討している

総務課長 町制施行100周年記念事業については、現在確定しているものはないが、様々な事業について検討している。現在、担当部署は決まっていない。疑問なところがあれば、総務課に相談いただければ対応する。

問 町制施行100周年まで残すところ約1年半となった。現在どのようなイベントを考えているのか。
また、町民の方から「ぜひイベントを手伝いたい」が、問い合わせする担当部署がわからない」と声が上がっている。その対応は。

問 令和10年は、町制施行100周年と瑞巖寺創建1200年という節目である。それに見合うイベントとして午前から夕方までかき祭りを、そして夜には花火大会を実施するのだろうか。

町長 手樽の花火大会と町制施行100周年記念事業が協力できるか今後の課題とされている。今年8月にスポンサーである東京の企業に直接伺い、お願いする。

問 町制施行100周年にあたり、松島中学校の「松中祭」復活を望む声がある。数年前より中学生から要望があるが、町としてどう考えているか。

問 給食費の滞納額が、令和4年度は約120万円。令和5年度は約140万円。令和6年度は約150万円。滞納繰越金合計が令和6年度現在で1,135万9,015円となっており、年々増えている。
現在の対策では不十分なため裁判所にて支払督促の申し立てを行い、最終的には差し押さえが行える制度の活用を検討すべきではないか。

問 手樽の花火大会とコラボをすることは可能か。

教育長 復活を望む声が私のところまで聞こえてこない。今の生徒たちが松中祭をイメージできているのか疑問だ。生徒自身が生徒会などに投げかけ、企画立案し、学校側に話してはどうか。

教育次長 支払督促の実績は過去にある。滞納者に納付の相談ができるかどうか、対応状況を踏まえながら支払督促について取り組むかどうか検討していきたい。実績があり、ノウハウがあるためやれる環境は整っていると把握している。



問

給食費の滞納額1,135万円の対応は

答

支払督促を含め、いろんなことを精査しながら考えていきたい



令和7年度 政務活動費収支報告

政務活動費の支給について

議員1人あたりに月額7,000円が交付され、議員1人あたりの年間交付額は84,000円（月額7,000円×12ヶ月）となります。また、「会派」と会派に所属しない個人の「議員」にそれぞれ交付されます。

令和7年度は、議会議員一般選挙が行われたため、議会の任期限である12月分が日割計算されています。

収支報告一覧（単位：円）

改選前（4/1～12/14）

会派名・議員名	所属議員名 ※（○）は代表者	交付額	支出	残額（返還額）	使途と金額
松政クラブ	高橋 利典（○） 櫻井 靖 片山 正弘	177,483円	31,359円	146,124円	資料購入費 31,359円
公明党	後藤 良郎（○）	59,161円	77,051円	0円	調査研究費 65,666円 資料購入費 7,648円 事務費 3,737円
日本共産党	今野 章（○）	59,161円	26,979円	32,182円	資料購入費 20,608円 事務費 6,371円
菅野隆二		59,161円	49,478円	9,683円	資料購入費 22,830円 広報費 11,718円 事務費 14,930円
米川修司		59,161円	23,479円	35,682円	研修費 15,000円 資料購入費 7,779円 広報費 700円
桜井ていこ		59,161円	63,288円	0円	研修費 500円 資料購入費 22,788円 広報費 40,000円
中島一都		59,161円	0円	59,161円	
赤間幸夫		59,161円	67,130円	0円	資料購入費 58,850円 事務費 8,280円
高橋幸彦		59,161円	7,648円	51,513円	資料購入費 7,648円
阿部幸夫		59,161円	16,268円	42,893円	資料購入費 15,568円 事務費 700円
小澤陽子		※申請なし	－円	－円	
色川晴夫		59,161円	118,015円	0円	資料購入費 9,115円 広報費 108,900円
合 計		769,093円	支出額 480,695円 交付額相当分 391,855円	377,238円	

改選後（12/15～3/31）

会派名・議員名	所属議員名 ※（○）は代表者	交付額	支出	残額（返還額）	使途と金額
公明党	井上 浩（○）	24,839円	2,868円	21,971円	資料購入費 2,868円
熊谷拓郎		24,839円	37,754円	0円	事務費 37,754円
本田翔也		24,839円	23,160円	1,679円	事務費 23,160円
桜井ていこ		24,839円	27,237円	0円	資料購入費 19,979円 事務費 7,258円
中西 傳		※申請なし	－円	－円	
菅野隆二		24,839円	41,843円	0円	広報費 40,795円 事務費 1,048円
米川修司		24,839円	57,905円	0円	研修費 55,000円 資料購入費 2,905円
櫻井 靖		24,839円	3,824円	21,015円	資料購入費 3,824円
安部 孝		24,839円	0円	24,839円	
赤間幸夫		24,839円	23,035円	1,804円	資料購入費 21,957円 事務費 1,078円
色川晴夫		24,839円	25,025円	0円	資料購入費 3,465円 事務費 21,560円
片山正弘		24,839円	3,465円	21,374円	資料購入費 3,465円
高橋幸彦		24,839円	3,824円	21,015円	資料購入費 3,824円
高橋利典		24,839円	6,794円	18,045円	資料購入費 6,794円
合 計		322,907円	支出額 256,734円 交付額相当分 191,165円	131,742円	

一部事務組合議会報告

塩釜地区消防事務組合

令和8年第1回定例会
令和8年3月30日(水)

行政報告

①火災件数

管内 41件 (前年比 12件減)
松島町内 6件 (前年比 1件減)

②救急出場件数

管内 10,677件 (前年比172件増)
松島町内 1,113件 (前年比 36件増)
※以上、令和7年1月～令和7年12月

③要介護認定審査判定件数

管内 7,123件 審査会開催 241回
松島町内 667件

④障害支援区分判定件数

管内 273件 審査会開催 23回
松島町内 22件

⑤し尿及び浄化槽汚泥の搬入実績

管内 4,523t (前年比146t増)
松島町内 2,085t (前年比 57t増)
浄化槽汚泥

管内 2,674t (前年比 68t増)

松島町内 1,175t (前年比 24t増)

⑥塩釜地区りふ斎苑業務

死体 2,180件
管内 222件

松島町内

動物

管内 231件

松島町内

16件

※以上、令和7年4月～令和8年2月

議案の審査状況

議案第1号

令和7年度塩釜地区消防事務組合
一般会計補正予算(第3号)

原案の通り可決

議案第2号

工事請負契約の締結について

原案の通り可決

議案第3号

和解について

原案の通り可決

議案第4号

令和8年度塩釜地区消防事務組合
一般会計予算

原案の通り可決

議案第5号

令和8年度塩釜地区消防事務組合
介護認定審査事業特別会計予算

原案の通り可決

議案第6号

令和8年度塩釜地区消防事務組合
障害支援区分審査事業特別会計
予算

原案の通り可決

議案第7号

令和8年度塩釜地区消防事務組合
環境事業特別会計予算

原案の通り可決

議案第8号

令和8年度塩釜地区消防事務組合
環境事業特別会計予算

原案の通り可決

一般質問

1名の議員が一般質問を行った。

色川 晴夫議員
片山 正弘議員

宮城東部衛生処理組合

令和8年第1回定例会
令和8年3月24日(火)

行政報告

①ごみの搬入状況(令和8年2月末)

39,182t

(前年比1,543t減)

松島町分

5,010t

(前年比 195t減)

②プラスチック資源のリサイクル状況(令和8年2月末)

1,000t

(前年比 3t増)

松島町分

96t

(前年比 2t増)

③ダイオキシン類濃度の測定、焼却灰等放射性物質濃度、排ガス中放射性物質濃度、埋立地浸出水処理水及び地下水放射性物質濃度、各施設敷地空間放射線量の測定結果は、いずれも目安や基準の範囲内。

※以上、令和7年4月～令和8年2月末

議案の審査状況

議案第1号

職員の給与に関する条例の一部を
改正する条例について

原案の通り可決

議案第2号

令和7年度宮城東部衛生処理組合
会計補正予算(第3号)について

原案の通り可決

議案第3号

令和8年度宮城東部衛生処理組合
会計予算について

原案の通り可決

議案第4号

令和8年度宮城東部衛生処理組合
会計予算について

原案の通り可決

赤間 幸夫議員
本田 翔也議員

次回 第3回 定例会 9月1日(火) 開会予定

- ▶ 傍聴は役場庁舎1階の「町民ホール」でも視聴できます
- ▶ 議場で傍聴される方は住所と氏名の記入をお願いします

議会情報は ここからどうぞ

松島町議会ホームページ



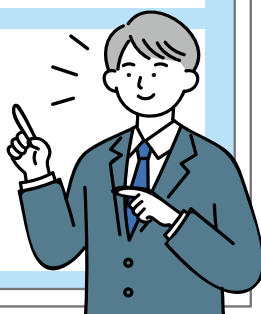
こちら
から



まつしま議会だより バックナンバー



こちら
から



町民インタビュー



松島北パークゴルフクラブ会長

みやもと しげる
宮本 茂さん

松島北パークゴルフクラブの 活動を教えてください

親睦と健康増進につながるものが必要であるとの想いから、平成30年2月に松島北パークゴルフクラブが誕生しました。現在31名の会員（平均年齢74歳）で、たまに意見交換（会食）等を交えながら県内のパークゴルフ場で和気あいあいと楽しく活動を行っています。

今後の目標などお聞かせください

健康で心豊かな生涯スポーツとして、高齢者同士、若い世代の人も気軽に楽しめて、パークゴルフを始めて良かったと言われるようなクラブを目指していきたいと思っています。

議会に対してご意見や要望を お聞かせ下さい

大会等は他市町村に車で出向いて開催している現状です。パークゴルフ場の町内の設置を議会で取りあげていただければと思います。

編集後記

連日厳しい暑さが続いておりませんが、皆様いかがお過ごしでしょうか。蝉の声が一段と賑やかになり、夏本番を実感する頃となりました。

さて、教育民生常任委員会及び総務経済常任委員会では行政視察を終え、視察先で得た知見や課題を踏まえながら、現在は報告書の作成を進めており、町への提言として取りまとめる予定です。

また、町民の皆様からいただいた請願書については、それぞれ関係する委員会に付託しており、今後、適宜議論を重ねてまいります。

これからも引き続き、議会の動きを分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。今後とも「まつしま議会だより」をよろしくお願いたします。

(米川 修司)

広報広聴常任委員会広報分科会

委員長	櫻井 靖
副会長	井上 浩
委員	熊谷 拓郎
委員	本田 翔也
委員	中西 傳
委員	米川 修司
委員	安部 孝